

はじめに

英語教育センター長 安藤公仁

平素は樟蔭学園英語教育センターの諸活動にご支援ご協力を賜り、ありがとうございます。当センターが平成21年4月に設立されてから7年経ち、今年度の学生・生徒のセンター利用者はすでに1万人を越えています。設立当時、何もない所からのスタートで暗中模索の日々でしたが、現在のようにたくさんの学生・生徒が利用してくれる施設となったことは感無量です。さらにセンターの機能を充実させ、学習サポート施設としての役割を果たしていきたいと考えています。

さて、平成26年2月、文部科学省に「英語教育の在り方に関する有識者会議」が設置され、グローバル化に対応した英語教育の大改革が求められている現在、英語によるプレゼンテーション能力や英語で相手を説得するコミュニケーション力を身に付けた日本人の育成が急務であると言われていています。そこで、今年度の英語教育センター主催ワークショップでは、「誰もが英語を話せる日本」を目指し、この国で教育を受ければ、誰もが英語を効率よく身につけ、話すことができる学習法を確立し、共有することをライフワークにしている大西泰斗先生（東洋学園大学教授、NHK英語教育番組講師）をお招きし、講演とワークショップをしていただきました。このワークショップには、大阪市立中学校教育研究会英語部のご支援をいただき、192名の参加者がありました。過去7年間9回のワークショップの中で最多の参加人数となりました。

また、中高部会では一学期と二学期に先生方の公開授業が実施され、後日ビデオによる授業研究会が英語教育センターで行われました。先生方自らが切磋琢磨して、お互いの指導技術を向上させる研修の場を今後とも提供していきたいと考えています。

今後も、英語教育センターが学園の英語教育の一層の充実を図るとともに、広く英語教育関係者のお役に立てるよう努力してまいります。